

受託候補者選定基準

1 評価項目

項目	評価内容	配点
事業者の能力	・適切に業務を遂行する能力（組織力）を有しているか。 ・業務遂行及び保守業務の遂行にあたって体制が確保されているか。 ・業務計画（スケジュール）が適切に管理されており、業務スケジュールが適切に確保されているか。	10
提案内容	・仕様書の要件を備えているか。 ・仕様書（要件）に記載がある方法以外による旧児童福祉センターの見せ方に創意工夫がされているか。	20
	・デジタルアーカイブが見やすく工夫がされているか。 ・操作方法が分かりやすい画面となっているか。 ・旧児童福祉センターの情報が可視化され、障害者や子ども等にもわかりやすい内容になっているか。	25
	・本市職員にとって、管理しやすい工夫がなされているか。 ・管理方法が分かりやすい画面となっているか。	10
類似業務の実績	・類似業務の実績は十分か。	10
情報の保全等	・守秘義務の遵守に係る対応が検討されている。 ・危機管理、リスクマネジメントを踏まえて検討されている。	5
市内中小企業	・京都市公契約基本条例第2条第1項第3号に規定される市内中小企業であるか。	5
社会的課題解決に資する取組等	・障害者法定雇用率の達成	5
見積金額	【計算方法】 10点×（申請団体のうち最低価格／評価対象価格） ※小数点以下第2位は四捨五入する。	10
合 計		100

2 評価方法

- (1) 選定委員会は、「見積金額」を除く各項目についてA～Eの評価を行う。
- (2) 各項目の配点に以下の評価係数を乗じたものを評価点とする。

評価	評価係数	評価内容
A	1. 0	優秀である。 : 高度な能力を有している。
B	0. 8	満足できる。 : 十分な能力を有している。
C	0. 5	充足している。
D	0. 3	物足りなさを感じる。 : 能力が乏しい。
E	0. 1	満足できない。 : 業務を委託することに不安がある。

- (3) 見積金額については、以下の算出式により、評価点を配分する。

令和7年度

10点×（申請団体のうち最低価格／評価対象価格）

※ 提出された見積金額が委託金額の上限を超えている場合は、失格とする。

※ 小数点以下第2位は四捨五入する。

- (4) 選定委員会で各委員の点数を合計して、最も高い評価を得た者を受託候補者として選定する。

3 提案書類等

- (1) 業務実施方針（任意様式）

様式は自由とし、評価基準に留意のうえ、以下の項目について簡潔にまとめること。

ア 業務に対する取組み方針と体制

本業務の目的、業務内容を踏まえ、業務実施の着眼点や実施方針を、実施体制等とあわせて記載すること。

イ 業務スケジュール

契約締結から本業務を確実にかつ迅速に実施するための作業フロー、工程計画について記載すること。

- (2) 企画提案（任意様式）

様式は自由とし、発注者の示す評価基準に留意のうえ、デジタルアーカイブ作成に係る企画提案を簡潔にまとめること。

- (3) 課題への対応方法について

認識される課題やその課題についての対応方法を、具体的な事例を踏まえ提案すること。